

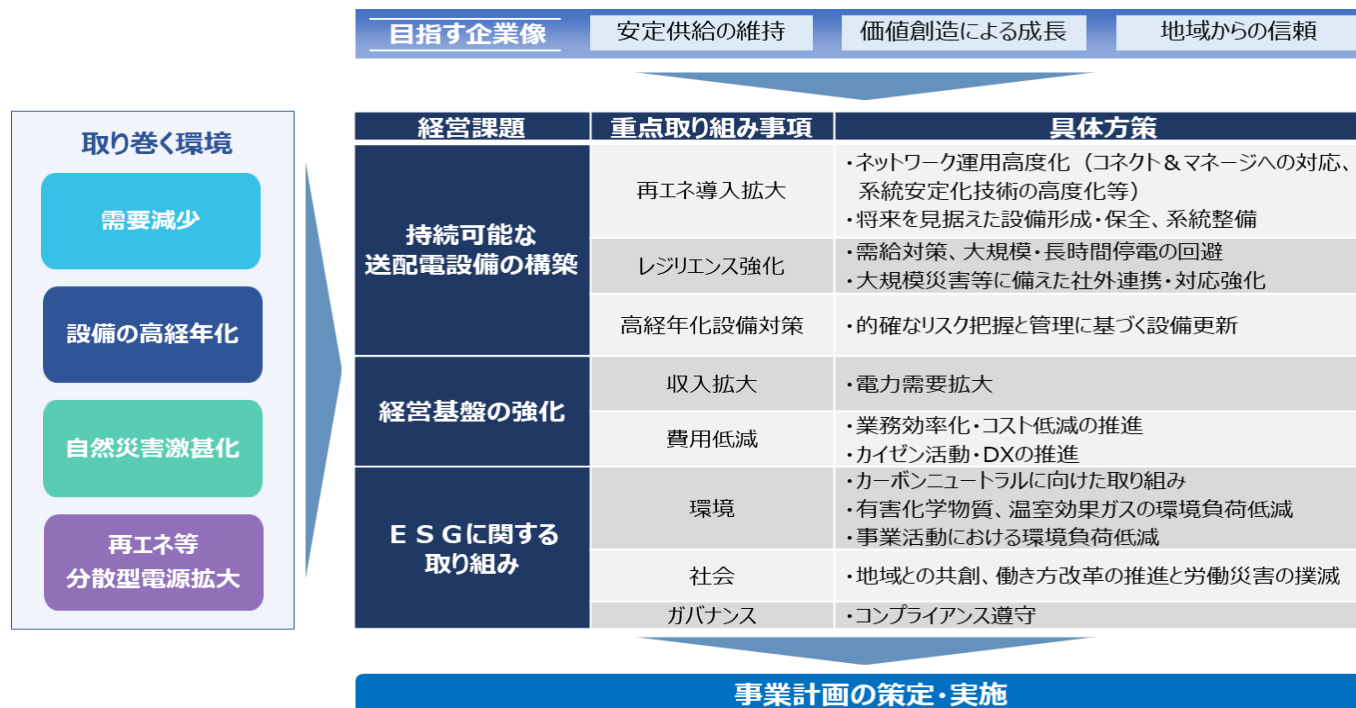
託送供給等約款の認可申請について

2023年1月11日

北海道電力ネットワーク株式会社

託送供給等約款の認可申請について

- 当社は、2023年度からの新たな託送料金制度（レベニューキャップ制度）の開始に向けて、今後5か年の事業計画を策定し、その実施に必要な収入の見通し（2023～27年度：1,988億円/年）について、2022年12月8日に経済産業大臣に申請を行い、同年12月23日に承認を受けました。
- 公表した事業計画に基づき、カイゼン・DXの推進等による最大限の効率化を図りながら、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた再エネ導入拡大、激甚化する自然災害への対応や高経年化が進む送配電設備の更新・保全などに着実に取り組んでいきます。
- 今回申請した託送供給等約款では、2022年12月23日に承認を受けた収入の見通しに基づく託送料金の設定のほか、再エネ出力抑制の低減・回避を目的とした料金メニューの見直しや国の審議会での整理等を反映した約款規定の見直しを行いました。



今回申請した託送料金の概要

- 承認された収入の見通し（1,988億円/年）を前提に、経済産業省令（一般送配電事業託送供給等約款料金算定規則）に則り、電圧別へ費用配分を行いました。
- 電圧別の平均単価と改定率は、**低圧 10.02円/kWh（+8.3%）、高圧 4.81円/kWh（+14.1%）、特別高圧 2.83円/kWh（+4.7%）**となります。

1 キロワット時あたり平均単価

（百万kWh/年、円/kWh）

		電力量	現行収入単価 A	今回申請単価 B	差 B - A	改定率
低	圧	12,734	9.25	10.02	+0.77	+8.3%
高	圧	12,920	4.21	4.81	+0.60	+14.1%
特 別 高 圧		3,196	2.71	2.83	+0.12	+4.7%
合	計	28,850	6.27	6.89	+0.62	+9.9%

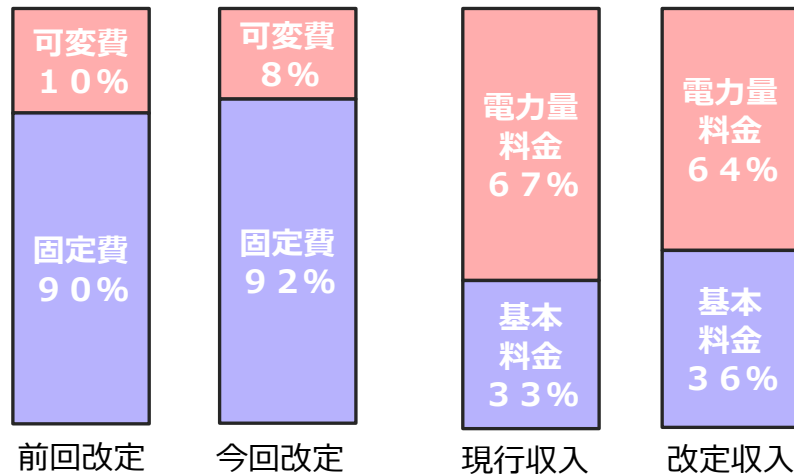
託送料金の設定

<基本的な考え方>

- 今回の主な値上げ要因は、再エネ電源の系統連系や経年化する設備の更新・保全対策などの固定的な費用の増加によるものであることから、**増加した費用は基本料金への上乗せを志向**しました。また固定的な費用が9割を占めるなか、基本料金による費用の回収割合が3割程度しかなく、電力量の変動による影響を緩和し再エネ拡大や安定供給に必要な投資を着実に実施していく観点から、現行料金よりも**基本料金による回収率を上げる**こととしました。
- 電力量料金については、総需要ロードカーブのフラット化が進んでいることや、再エネ出力抑制の回避につながる昼間帯の需要造成の観点から、**時間帯別の電力量料金単価の昼夜間格差を縮小**させました。

- **特別高圧は**、基本料金を値上げし、電力量料金を値下げすることで、**基本料金による回収率を上げました**。
- **低圧と高圧は**、今回増加した費用の全てを基本料金の値上げとした場合、使用量の少ないお客さまの料金負担が大きくなるため、**電力量料金も値上げすることにより、値上げの影響を緩和**しました。

費用と料金収入の関係性



電圧別の基本料金回収率

	現行料金	電力量料金単価 据置ケース	今回申請
低圧	26%	31% (+5%)	28% (+2%)
高圧	46%	53% (+7%)	50% (+4%)
特別高圧	45%	43% (▲2%)	50% (+5%)
全系	33%	39% (+6%)	36% (+3%)

※ () は現行回収率からの増減

【参考】 使用量の少ないお客さまへの影響

(税込、月額料金)

	現行託送料金	電力量料金単価据置ケース	申請料金
電灯 (30A・100kWh)	1,354円	1,543円 (+189) 値上げ率 14.0%	1,491円 (+137) 値上げ率 10.1% (▲3.9%)
電灯 (30A・200kWh)	2,154円	2,341円 (+187) 値上げ率 8.7%	2,329円 (+175) 値上げ率 8.1% (▲0.6%)
高圧 ・契約50kW ・5,000kWh	39,347円	47,615円 (+8,268) 値上げ率 21.0%	46,405円 (+7,058) 値上げ率 17.9% (▲3.1%)
高圧 ・契約50kW ・10,000kWh	52,047円	60,215円 (+8,168) 値上げ率 15.7%	59,805円 (+7,758) 値上げ率 14.9% (▲0.8%)

※電灯はSB契約の場合

※高圧は力率100%の場合

※現行託送料金には、2022年3～5月分の平均燃料価格をもとに算定した離島ユニバーサルサービス調整単価を含む

※金額の () は、現行料金からの値上げ額

※申請料金の値上げ率の () は、電力量料金単価据置ケースとの差

【参考】託送料金単価（標準料金・時間帯別料金）

			低圧（電灯）	低圧（動力）
基本料金 （円/kW）	実量契約		272.80（+41.80）	608.30（+74.80）
	SB・主開閉器契約		217.80（+33.00）	365.20（+45.10）
電力量料金 （円/kWh）	標準		8.38（+0.38）	4.83（+0.18）
	時間帯別	昼間	8.77（+0.17）	5.06（+0.07）
		夜間	7.89（+0.50）	4.58（+0.27）

			高圧	特別高圧
基本料金（円/kW）			776.60（+149.60）	489.50（+71.50）
電力量料金 （円/kWh）	標準		2.68（+0.14）	1.34（▲0.31）
	時間帯別	昼間	2.86（+0.02）	1.41（▲0.98）
		夜間	2.49（+0.32）	1.27（+0.61）

※消費税等相当額を含む

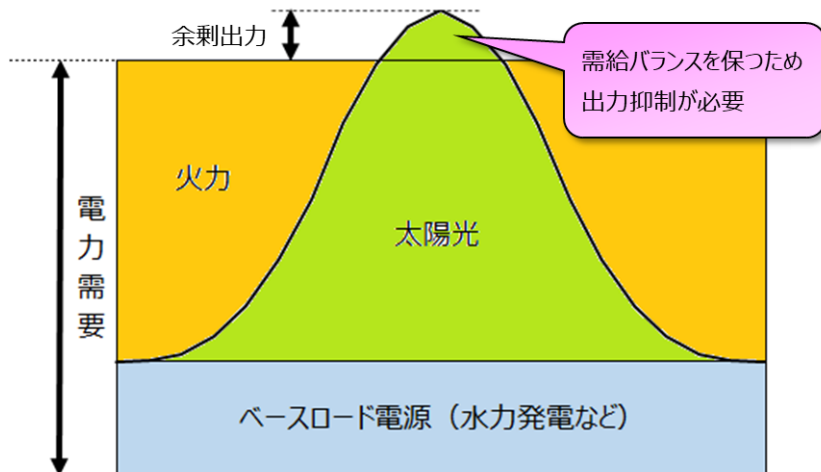
※（ ）は、現行料金からの値上げ単価

再生可能エネルギーの有効活用に向けた託送料金メニューの見直し

- 電力需要が低下するゴールデンウィークなどの軽負荷期は、太陽光発電の稼働が高まる時期でもあり、火力発電設備の出力抑制や揚水発電設備の運転、地域間連系線を活用した広域的な系統運用等の対策によって需給バランスの維持に努めていますが、それでもなお電力供給が需要を上回ることが不可避となる場合には、やむを得ず再エネの出力抑制をお願いさせていただいています。
- このような状況を踏まえ、再エネ発電量の増加が見込まれる時間帯への負荷移行や上げDR(※)などによる需要の造成を後押しすることを目的に、託送料金メニューの「**ピークシフト割引**」や「**自家発補給電力の特別措置**」で設定している**割引対象の時間帯を、大幅に拡大**します。

※ 電気の需要量を増加させること

再エネ出力抑制のイメージ



料金メニューで負荷移行・上げDRを後押し

再エネの高稼働時に電力需要が増加

再エネ出力抑制を回避

再エネの更なる導入拡大

再エネの主力電源化

【参考】ピークシフト割引、自家発補給電力の特別措置の見直し（概要）

① ピークシフト割引の見直し

- ピークシフト割引は、高圧および特別高圧供給において、昼間時間(※1)から夜間時間(※2)への負荷移行により、1年を通じての最大需要電力が夜間時間に発生する場合に、負荷移行した電力に応じて料金を割引するメニューです。
- 今回の見直しでは、従来の日曜日・祝日と土曜日・平日の夜間時間帯（22～8時）に加えて、土曜日の8～22時と軽負荷月の平日8～16時の時間帯、再エネ出力抑制に係る時間帯を割引対象に追加します。

※1：日祝、4/30～5/2および12/30～1/3を除く、8～22時までの時間

※2：昼間時間以外の時間

<今回、割引対象に追加する時間帯>

①	軽負荷月（4～6月、9・10月）の 平日8～16時
②	土曜日の8～22時（通年）
③	再エネ出力抑制を実施もしくは実施の可能性を公表した時間帯

<割引対象時間帯一覧>

時間帯	軽負荷月(4～6,9・10月)			軽負荷月以外			再エネ 出力抑制
	平日	土	日・祝日	平日	土	日・祝日	
8～16時	追加	追加	○	—	追加	○	追加
16～22時	—	追加	○	—	追加	○	
22～8時	○	○	○	○	○	○	

② 自家発補給電力の特別措置の見直し

- 自家発補給電力の特別措置は、当社が再エネ電源に対する出力抑制の可能性や出力抑制の要請を公表した時間帯に、自家用発電設備を保有するお客さまから期限(※1)までに上げDRの実施連絡をいただき、自家用発電設備を停止・抑制いただいた場合に、自家発補給電力の基本料金を半額にするメニューです。※1：上げDR実施日の午前3時まで
- 今回の見直しでは、この上げDRを自家用発電設備を保有のお客さまがより実施しやすいよう、軽負荷月の8～16時と軽負荷月以外の土曜日・日曜日・祝日の8～16時を割引対象に追加します。

※再エネ出力抑制は全時間帯が対象

<今回、割引対象に追加する時間帯>

①	軽負荷月（4～6月、9・10月）の 8～16時
②	軽負荷月以外の土・日・祝日、8～16時

<割引対象時間帯一覧>

時間帯	軽負荷月(4～6,9・10月)			軽負荷月以外			再エネ 出力抑制
	平日	土	日・祝日	平日	土	日・祝日	
8～16時	追加	追加	追加	—	追加	追加	○※

その他供給条件の見直し

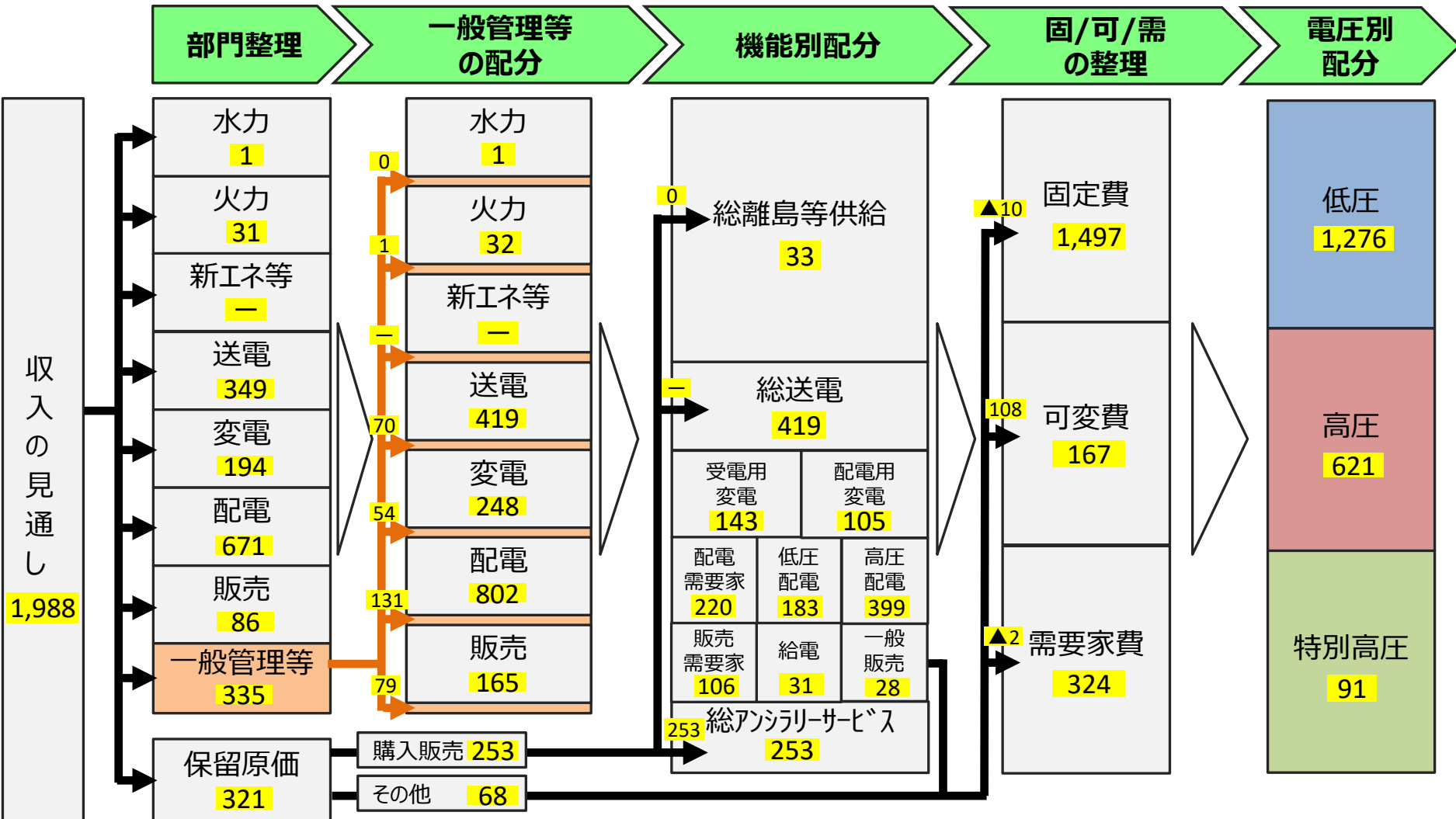
- 託送料金の設定および料金メニューの見直しに加えて、再エネ導入拡大や安定供給維持などの観点から、国の審議会における整理内容を踏まえ、託送供給条件の見直しを行いました。
- 主な見直し内容は以下のとおりです。

N-1電制（費用負担） の規定追加	国の審議会※¹での整理を踏まえ、N-1事故時※²の解列を条件に連系した発電設備について、解列に必要な電制装置の設置費用（初期費用）と解列に伴う追加費用（オペレーション費用）※³を、一般負担とする旨を規定。 ※1：第37回再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会（2021年11月30日開催） ※2：送電線2回線のうち1回線に故障が生じること（単一設備故障） ※3：電制された電源の代替となる電気を調達する際の費用および電制された電源が再起動する際の費用
グリッドコード （系統連系技術要件）	再エネの大量導入に向けて、電力広域的運営推進機関の「グリッドコード検討会」において、系統に接続される電源が従うべきルール（グリッドコード）について検討がなされ、各種技術要件が整理されたことを踏まえ、託送供給等約款（別冊）の「系統連系技術要件」に反映。
保証金の規定変更	供給力を確保せずインバランスに依存することによる大規模な料金未収リスクに備え、国の審議会※⁴で整理された「インバランス料金の未収リスクがある場合は、予想月額料金の3月分に相当する金額をこえない範囲で、必要に応じて保証金を預けていただく」旨を規定。 ※4：第77回制度設計専門会合（2022年9月26日開催）

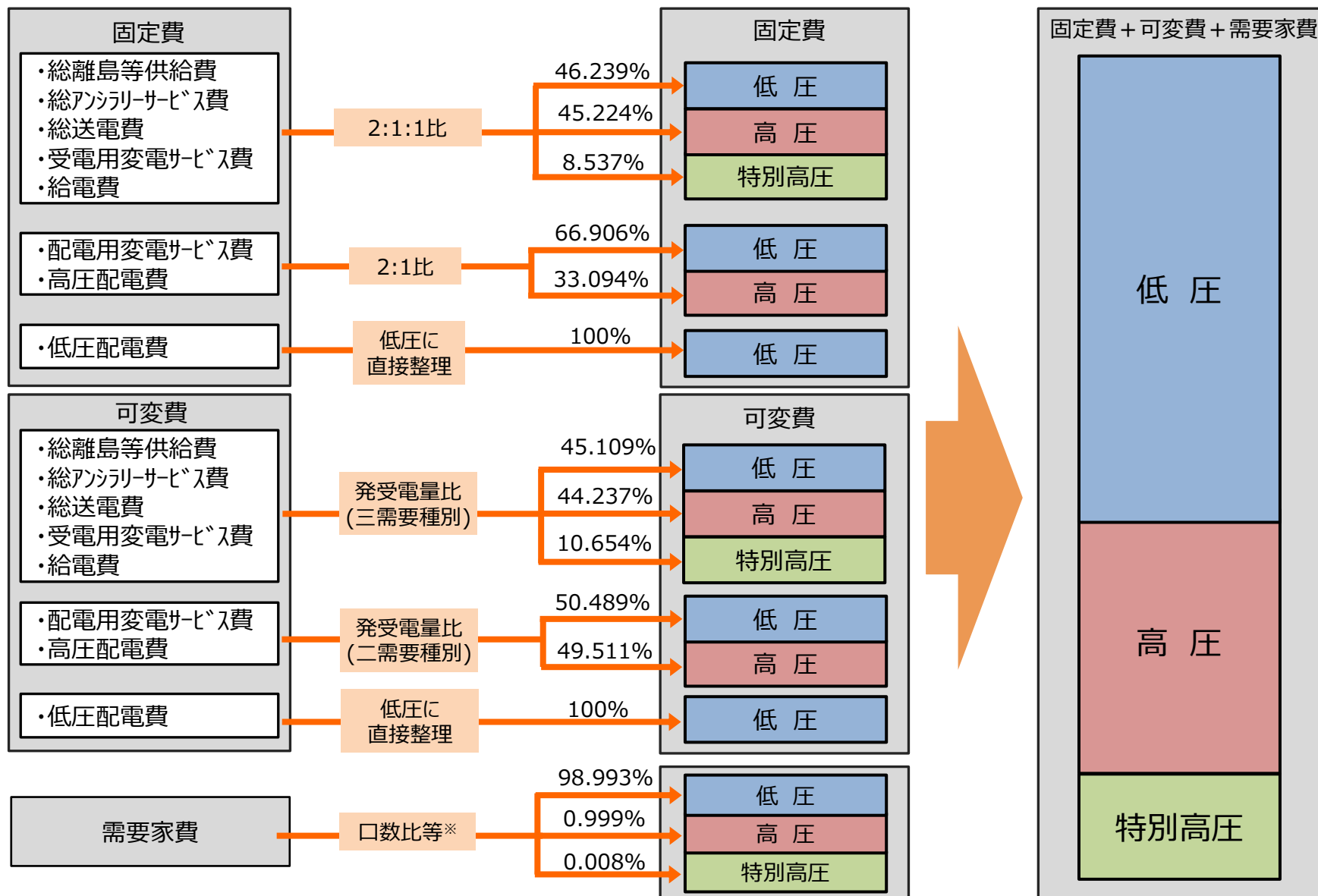
費用配分(個別原価計算)

費用配分（個別原価計算）について

（単位：億円／年）



電圧別配分のイメージ図



※需要家費のうち、引込線・計測器等に係る費用については、事業者設定基準を定め、各電圧に配分している。

電圧別配分比率

○ 2 : 1 : 1 比率

＜算定諸元＞

	最大電力	尖頭時責任電力		発受電量
		夏季	冬季	
	MW	MW	MW	GWh
低 圧	3,056	1,383	2,350	13,781
高 圧	2,624	2,364	2,262	13,514
特別高圧	455	415	364	3,255
合 計	6,135	4,162	4,976	30,550

＜構成比＞

最大電力 A	尖頭時責任電力		発受電量 D	2 : 1 : 1 比率
	夏季 : B	冬季 : C		
%	%	%	%	%
49.808	33.240	47.220	45.109	46.239
42.770	56.780	45.460	44.237	45.224
7.422	9.980	7.320	10.654	8.537
100.000	100.000	100.000	100.000	100.000

※2:1:1比率 : $(A \times 2 + B \times 0.5 + C \times 0.5 + D \times 1) \div 4$

○ 2 : 1 比率

＜算定諸元＞

	延べ 契約電力	発受電量
	MW	GWh
低 圧	168,785	13,781
高 圧	55,921	13,514
合 計	224,706	27,295

＜構成比＞

延べ 契約電力 E	発受電量 F	2 : 1 比率
%	%	%
75.114	50.489	66.906
24.886	49.511	33.094
100.000	100.000	100.000

※2:1比率 : $(E \times 2 + F \times 1) \div 3$

○ 口数比

	口数	構成比
	千口	%
低 圧	48,810	98.993
高 圧	492	0.999
特別高圧	4	0.008
合 計	49,306	100.000

(注) 2023年度～2027年度平均

料金単価表

料金単価表（低圧）

○低圧 接続送電サービス料金（電灯）

（円、税込）

契 約 種 別			単 位	現 行 (①)	申 請 (②)	差 (②－①)
電灯定額 接続送電 サービス	電 灯 料 金	10Wまで	1 灯	37.97	43.15	+5.18
		10Wをこえ20Wまで	1 灯	75.95	86.31	+10.36
		20Wをこえ40Wまで	1 灯	151.90	172.60	+20.70
		40Wをこえ60Wまで	1 灯	227.82	258.91	+31.09
		60Wをこえ100Wまで	1 灯	379.72	431.51	+51.79
		100Wをこえる50Wまでごとに	1 灯	189.86	215.75	+25.89
	小型 機器 料金	50VAまで	1機器	113.42	128.89	+15.47
		50VAをこえ100VAまで	1機器	226.82	257.77	+30.95
		100VAをこえる50VAまでごとに	1機器	113.42	128.89	+15.47
電灯標準 接続送電 サービス	基本 料金	実量契約	1 kW	231.00	272.80	+41.80
		S B・主開閉器契約	1 kVA	184.80	217.80	+33.00
		S B 契約： 5 A	1 契約	92.40	108.90	+16.50
		S B 契約： 1 5 A	1 契約	277.20	326.70	+49.50
	電力量料金		1 kWh	8.00	8.38	+0.38
電灯時間帯別 接続送電 サービス	基本 料金	実量契約	1 kW	231.00	272.80	+41.80
		S B・主開閉器契約	1 kVA	184.80	217.80	+33.00
		S B 契約： 5 A	1 契約	92.40	108.90	+16.50
		S B 契約： 1 5 A	1 契約	277.20	326.70	+49.50
	電力量料金	昼間	1 kWh	8.60	8.77	+0.17
		夜間	1 kWh	7.39	7.89	+0.50
電灯従量接続送電サービス			1 kWh	11.78	12.86	+1.08

※現行単価には、2022年3～5月分の平均燃料価格をもとに算定した離島ユニバーサルサービス調整単価を含む。

料金単価表（低圧）

○低圧 接続送電サービス料金（動力）

（円、税込）

契 約 種 別			単 位	現行 (①)	申請 (②)	差 (②－①)
動力標準 接続送電サービス	基本料金	実量契約	1 kW	533.50	608.30	+74.80
		主開閉器契約	1 kW	320.10	365.20	+45.10
	電力量料金		1 kWh	4.65	4.83	+0.18
動力時間帯別 接続送電サービス	基本料金	実量契約	1 kW	533.50	608.30	+74.80
		主開閉器契約	1 kW	320.10	365.20	+45.10
	電力量料金	昼間	1 kWh	4.99	5.06	+0.07
		夜間	1 kWh	4.31	4.58	+0.27
動力従量接続送電サービス			1 kWh	13.40	14.81	+1.41

※現行単価には、2022年3～5月分の平均燃料価格をもとに算定した離島ユニバーサルサービス調整単価を含む。

料金単価表（低圧）

○低圧 臨時接続送電サービス料金

（円、税込）

契 約 種 別		単 位	現 行（①）	申 請（②）	差（②－①）
電灯臨時定額 接続送電サービス	50VAまで	1 日につき	3.37	3.83	+0.46
	50VAをこえ100VAまで		6.74	7.65	+0.91
	100VAをこえ500VAまでの場合 100VAまでごとに		6.74	7.65	+0.91
	500VAをこえ 1 kVAまで		67.33	76.51	+9.18
	1 kVAをこえ 3 kVAまでの場合 1 kVAまでごとに		67.33	76.51	+9.18
電灯臨時 接続送電サービス	基本料金	1 kVA	電灯標準接続 送電サービスの 料金率を10% 割り増したもの	電灯標準接続 送電サービスの 料金率を10% 割り増したもの	—
	電力量料金	1 kWh	8.80	9.22	+0.42
動力臨時定額接続送電サービス		1 kW 1 日につき	69.54	83.95	+14.41
動力臨時 接続送電サービス	基本料金	1 kW	動力標準接続 送電サービスの 料金率を20% 割り増したもの	動力標準接続 送電サービスの 料金率を20% 割り増したもの	—
	電力量料金	1 kWh	5.58	5.80	+0.22

※現行単価には、2022年3～5月分の平均燃料価格をもとに算定した離島ユニバーサルサービス調整単価を含む。

料金単価表（高圧・特別高圧）

○高圧・特別高圧 接続送電サービス料金

（円、税込）

契 約 種 別			単 位	現行（①）	申請（②）	差（②－①）
高圧標準 接続送電サービス	基本料金		1 kW	627.00	776.60	+149.60
	電力量料金		1 kWh	2.54	2.68	+0.14
高圧時間帯別 接続送電サービス	基本料金		1 kW	627.00	776.60	+149.60
	電力量 料金	昼間	1 kWh	2.84	2.86	+0.02
		夜間	1 kWh	2.17	2.49	+0.32
高圧従量接続送電サービス			1 kWh	12.81	15.41	+2.60
ピークシフト割引			1 kW	533.50	660.00	+126.50
特別高圧標準 接続送電サービス	基本料金		1 kW	418.00	489.50	+71.50
	電力量料金		1 kWh	1.65	1.34	▲0.31
特別高圧時間帯別 接続送電サービス	基本料金		1 kW	418.00	489.50	+71.50
	電力量 料金	昼間	1 kWh	2.39	1.41	▲0.98
		夜間	1 kWh	0.66	1.27	+0.61
特別高圧従量接続送電サービス			1 kWh	8.50	9.37	+0.87
ピークシフト割引			1 kW	355.30	415.80	+60.50

※現行単価には、2022年3～5月分の平均燃料価格をもとに算定した離島ユニバーサルサービス調整単価を含む。

料金単価表（高圧・特別高圧）

○高圧・特別高圧 臨時接続送電サービス料金

（円、税込）

契約種別		単位	現行（①）	申請（②）	差（②－①）
高圧臨時 接続送電サービス	基本料金	1 kW	高圧標準接続送電サービスの料金率を20%割り増したもの	高圧標準接続送電サービスの料金率を20%割り増したもの	—
	電力量料金	1 kWh	3.05	3.22	+0.17
特別高圧臨時 接続送電サービス	基本料金	1 kW	特別高圧標準接続送電サービスの料金率を20%割り増したもの	特別高圧標準接続送電サービスの料金率を20%割り増したもの	—
	電力量料金	1 kWh	1.98	1.61	▲0.37

※現行単価には、2022年3～5月分の平均燃料価格をもとに算定した離島ユニバーサルサービス調整単価を含む。

○高圧・特別高圧 予備送電サービス料金

（円、税込）

契約種別		単位	現行（①）	申請（②）	差（②－①）
高圧	予備送電サービスA	1 kW	77.00	93.50	+16.50
	予備送電サービスB	1 kW	104.50	110.00	+5.50
特別高圧	予備送電サービスA	1 kW	99.00	104.50	+5.50
	予備送電サービスB	1 kW	121.00	132.00	+11.00

料金単価表（その他）

○近接性評価割引

（円、税込）

区 分	単 位	現行（①）	申請（②）	差（②－①）
受電電圧が標準電圧6,000ボルト以下の場合	1 kWh	0.61	0.61	±0
受電電圧が標準電圧6,000ボルトをこえ 100,000ボルト以下の場合	1 kWh	0.43	0.43	±0
受電電圧が標準電圧100,000ボルトをこえる場合	1 kWh	0.22	0.22	±0